



## NPO PTPL “ともいき” 便り No.10

■ 処暑号 (2012年8月24日 発行)

残暑まっさかり。この猛暑の夏、皆さまいかがお過ごしでしたか。

しかし、二十四節気ではこれからの十五日間が処暑。暑さが止むという意味のようですが、ちょっと実感は伴いません。地球はますます暑くなり、日本は亜熱帯になりそうです。物質文明が吐き出す熱気をコントロールしないと、70億人の地球は困ったことになりそうです。

しかし、朝の空の色と雲、夕方の風、つくつく法師蝉の鳴き具合に、果てて行く夏を感じ、寂寥感もしのび寄ります。盛りを過ぎる情感でしょうか。

この夏は、ツバメをついに1度しか見ることができませんでした。東京麻布に舞った二羽のツバメ、無事に南の国に戻ることができるでしょうか。

☆ ☆ ☆

ところで、電力は全く不足しない夏でしたね。原子力発電はやっぱり必要と政府や経済界は主張してきましたが、この猛暑つづきのなかで消費電力が供給の90%を超える日はせいぜい2日か3日。それも90%とか91%。電力は不足どころか十分に余裕があります。

原発は皆無でも電気は足りている。その事実を今年の夏は実証しました。それなら安全第一が文句なくよい。この現実には、私たちにほっとさせます。

☆ ☆ ☆

また、この夏にかけて日本の社会に大きな変化を感じます。

ひとつは世論調査。政府が行った「討論型世論調査」「聴取会」「パブリックコメント」という、これまでになかった国民の意識調査です。市民たちが考えを述べ合って意見を述べる信頼性のある調査。そのすべての調査で「原発ゼ

ロ%」支持が、多数を占めました。なかでも7月～8月に行った「パブリックコメント（意見公募）」では90%が「原発0%」を示しました。しかも、そのうち81%は即時ゼロを求めているのです。

これまでの「原発安全神話」は完全に神通力を失いました。これが実質的な世論と言えるでしょう。日本人の良識と倫理性が示されたと思います。

☆ ☆ ☆

もうひとつは「脱原発」をアピールし続けてきた市民団体に、ついに野田首相が面会したことです。市民団体は、市民生活の安全を脅かす原発への不信を総理大臣に訴え、再稼働した関西電力大飯原発二基の中止を求めました。さらに「原子力規制委員会」の人事撤回も求めました。

市民が直接政府代表と面会して、重要案件を要望する直接民主主義のひとつの形。こういう例は、これまであったでしょうか。あったとしても稀なことだったと思います。

☆ ☆ ☆

これらの動き、意識の変化を、「ともいき」という私たちNPO PTPLの価値観から見てみましょう。「ともいき」の基本は、「祖先と共に、人と共に、自然と共に、地域とともに、子孫と共に、結び合い、助け合い、支え合い、譲り合って生きるという価値観、生活観」です。

この価値観に照らしてみると、上記の最近の日本人の意識、価値観は「ともいき」に近いものがあるのではないのでしょうか。私は、日本が向かっている時代の傾向を「市民社会」と感じてきました。人と人、人と自然のコミュニケーションの豊かな社会、自覚した生活者＝市民が手をつないで、安心と安全を基本に、生きる喜びのある社会を目指す。そういう社会を私は「市民社会」と呼び、そこに日本の希望らしきものを感じているのですが。

皆さんはこの暑い夏をどのような思いでお過ごしになられましたか。お便りを頂ければ幸いです。

朝倉 勇 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■事務局便り

◎「東京二十四節気ウォーク・第5回立秋」が開催されました。

2012年8月11日(土)、この日は二十四節気・立秋の節気期間です。暦の上では立秋とはいえ、まだまだ暑い日が続く時季でのウォーキングです。当日は約340名の方が参加されました。

今回のテーマは「花火」。八丁堀駅近くの桜川公園を夕方4時過ぎにスタート。今回は隅田川を挟み、東京湾大華火大会会場周辺の晴海トリトンスクエアまでのコースです。

スタート後、水天宮、そして清洲橋を渡り、清澄公園を抜け、芭蕉の俳句を詠みながら芭蕉像を見、あとはゴールまで一気にウォーキング。途中、いくつかの橋の上では、暑いながらも秋を感じる風でひと心地。



◎ “ともいき” 便りは、基本的に郵送しておりますが、お知り合いの方にメールなどで配信ご希望の方は、事務局までお知らせください。テキストデータでお送りします。

◎ Facebook「ともいき ぐらし」(<http://www.facebook.com/tomoikigurashi>) ご覧ください。そして、よろしければ「いいね！」ボタンを押してください。

◎ 皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております。

■ お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒108-0073 東京都港区三田 2-21-11 パークハイム三田 103 号

電話：03-6436-0335 FAX：03-6436-0337 Email：[info@plantatree.gr.jp](mailto:info@plantatree.gr.jp)